

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林ふれあい推進センター・こだま通信



水都おおさか森林の市2013「水源の森ジオラマづくり」

平成25年10月6日(日曜日)
近畿中国森林管理局、毛馬桜之宮公園を会場に「来て、見て、触って、大川端は森林(もり)だくさん」をテーマに「水都おおさか森林の市2013」が開催されました。今回は、58団体の出展があり、初出展のシカ肉の試食のほか、趣向を凝らした出展が行われ、大いに賑わいました。

当センターは「水源の森ジオラマづくり」を出展し、

「水源かん養保安林」などの解説

10時、12時、14時の3回に各20人、計60人に方に参加していただきました。

この「ジオラマづくり」は、最初に「水源かん養保安林」の話を聞き、その後に自分だけの「水源の森」をジオラマでつくる体験です。ジオラマづくりになると皆さん夢中になって、ミニ樹木の作成ではうまく出来たと喜んだり、地面に見立てるケヤキの皮を、どの様に使うか悩みながらも、自分の森が徐々にできあがり、最後に「水源かん養保安林」のミニ看板を付けて完成となり、記念撮影を行いました。

皆さんからのアンケートの回答では、水源かん養保安林の話が、理解できたこと、ジオラマづくりは楽しかった、次回もやってほしいなどの意見が多くありました。



ジオラマ作成中



ジオラマ完成間近

アサヒビール(株)社員の社会貢献活動への支援



参加者記念写真



植樹方法の解説

明治の森箕面自然休養林管理運営協議会主催によるアサヒビール(株)の社員とその家族42名が参加した森林整備活動が、10月19日(土)箕面国有林で行われました。

このイベントは、同協議会のオフィシャルサポーターとなっているアサヒビール(株)が行う社会貢献活動の一環として実施されているものです。

朝からの雨も上がり、午前中は、参加者のうち20名によりクヌギ苗の補植作業と、残る20名による記念の森内の樹木保護ネットの設置(ニホンジカによる剥皮被害の防止)に汗を流しました。

補植作業は、雨で地面が滑りやすかったにもかかわらず、予定していた一人当たり4本の植付も順調に進んで終了しました。参加者からは、「もっと植えたかった」との声も聞こえました。

午後には、天候も回復し、時折青空も見える心地よい天気となり、管理棟前の広場で「水源の森ジオラマづくり」に取り組みました。

まず始めに、水源かん養の機能についての説明を行い、自分だけの水源の森をイメージし、作品の制作にとりかかりました。最初はこんなことして楽しいのかなという雰囲気でしたが、手順に従って作り始めると、友達同士で競い合いながらの楽しい笑い声や無口になって作成に没頭する人など、子ども大人も楽しんでいただけたようです。

来年も、この取組みを実施して欲しいとの声も上がり、継続的な取組みとなることを期待しています。



水源かん養機能などの説明



親子による植樹作業



親子でジオラマ作成中



ジオラマ完成

箕面市民イベント
「みどり生き生き みのお生き生き 体験フェア」
で「オオクワガタの棲める森づくり」で出展



台風27号が過ぎ去って秋空が広がる10月27日(日)、山とみどりの市民イベント実行委員会・箕面市主催による「みどり生き生き みの生き生き 体験フェア」が大阪府箕面市のかやの広場で開催されました。このイベントは山の保全や自然保護などに関わる市民団体やNPOの活動を紹介し、共に考え行動していくための催しとして毎年4月と10月の2回開催されています。当センターも箕面国有林で取り組んでいる。「オオクワガタの棲める森づくり」のPRのため出展しました。

当日は「オオクワガタの棲める森づくり」のパネル展示、パンフレットの配布のほか、森林の水源かん養機能などを知ってもらうための取組として「水源の森ジオラマづくり」を併せて行い、スタッフとして「きんきちゅうごく森林づくりの会」の2名の応援により進めることができました。

「水源の森ジオラマづくり」では、一度に工作できるのが7名でしたが、開始と同時に満員となり、終了まで絶え間なく参加者が来てくれました。作成には1時間程度かかることから参加できずに残念そうに帰られた方もおられました。

水源の森ジオラマづくりは、まず始めにパネルを使って森林の機能のうち水源かん養について説明し、その後、ジオラマを作ってもらっています。お待ちかねのジオラマづくりに取りかかると、子どもたちは夢中になって作っていました。子どもたちが作っている間、後ろでじっと見守るお母さんや、見かねたお父さんが途中から作り出したりなどほほえましい場面がみられました。皆さん作品が仕上がるとうれしそうに帰って行きました。

アンケートについては「水源の森をイメージして小さな水源を作ることで自然の大切さを学ぶことが出来たと思います。」と答えていただいた方があるなど、森林の機能についても子どもたちに学んでもらえたことと思います。



水源かん養について子どもたちへ説明



ジオラマ作成中

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

箕面森林ふれあい推進センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F

